

まちづくりコーディネーター通信

8月18日(金)「知って学んで体験 海へいこう! (都川・市木)」の様子

令和5年9月発行

目次

令和5年度 上半期の主な活動

令和5年度上半期の主な活動 1

【専門分野】お金の勉強会について 2

各地域の取組紹介 3~4

コーディネーターのつばやき 4

皆様、こんにちは！まちづくりコーディネーターです。
はやいもので、令和5年度も上半期が終わり、下半期に突入しようとしています。

上半期は、「まちづくりコーディネーターにどう声をかけたらいいかわからない」といった声をいただいていたため、「まちづくりコーディネーター派遣申込」の仕組みを作り、運用をはじめました。今後も様々な意見を聴き、少しでもお力になれるような形をつくっていきたいと思います。

地区まちづくり推進委員会の設立については、6つの町で定期的（概ね月1回）に会議を開催し、まちづくりセンターと連携した取組を進めています。その活動の中で、3ページにある「防祭」の実施につながりました。

情報発信については、少しでも皆様に各地区の取組が伝わるよう、まちづくりコーディネーターのSNSの更新頻度をアップすると同時に、本通信も発行を続けました。

また、諸般の事情により7月末に小田原コーディネーターが退職され、4名体制となりましたが、下半期もがんばっていきますので、引き続きよろしくお願いたします。



派遣申込による支援（三保まちづくりセンター）



小田原コーディネーター



8月3日（木）に、周布まちづくりセンターでお金の使い方の勉強会「目指そう買物名人」が開催されました。対象は小学校4～6年生で、保護者や中学生のボランティアも一緒に参加しました。

修学旅行では、現金とクーポンを使う場合が多いため、今回6,500円（現金4,500円とクーポン2,000円）を使った模擬買物体験を行いました。ずいぶん残高を残す子ども達もいましたが、小学校6年生は既に修学旅行でクーポンを使っているため、イメージしやすかったようです。

クーポン券を使うことが日常ではあまり無いため、戸惑いながらも特徴（お釣りが出ない）を理解して、買い物を工夫し楽しんでいました。



参加者の声

「無駄遣いをしないよう、気を付けます。」

「計画を立てて、買い物をしようと思いました。」

「クーポンをうまく使って、損をしないように買い物をしたいと思います。」

「修学旅行に行く前に勉強できてよかったです。」

周布まちづくりセンターより

近年、企業による様々なサービス展開によりキャッシュレス決済の普及が進んでいます。現金やクーポン活用で改めてお金の大切さを学んでもらいたいと考え、金融が専門分野である佐々木コーディネーターに相談し、島根県金融広報委員会へ繋いでいただき、事業を実施することができました！

各地域の取組紹介

浜田



4町連携！防災事業「防祭」

昨年度、港町で行われた「防祭」ですが、今年度は港町、大辻町、瀬戸ヶ島町、元浜町の4町が一緒になり、よりパワーアップして開催されました。

地震体験、発電機の使い方、簡易タンカや人力車イスによる搬送体験等さまざまな体験ブースがあり、中でも骨折で歩けないお父さん（設定）を人力車イスで搬送する娘さんの様子は微笑ましくもあり頼もしかったです。

また、災害時の限りある資源の活用方法として、アルミ缶を利用したランタン製作、牛乳パックを燃料にした炊飯体験もあり、参加された105人の皆さんの防災意識を高める良い機会になったのではないかと感じています。

暑い熱い2時間で、いろいろなドラマがあり、スタッフの皆さんと参加住民の皆さんの触れ合いの様子に、伴走させてもらったコーディネーターの面々も大きな感動を味わいました。

今福小学校区 夏のお楽しみ会

8月18日（金）、今福小学校区内の3つのまちづくりセンター連携事業「夏のお楽しみ会」が美又まちづくりセンターで開かれました。

このお楽しみ会は、今福小学校の5・6年生の希望者が、こどもミニミニ会議で計画し、役割を分担しながら進めていくもので、今まで一番希望の多かったバーベキューを実現することができました。

3種の鬼ごっこにかくれんぼ、島根県立大学のお兄さん達も加わって、子どもも大人も大いに楽しみ、お肉や夏野菜をいっぱい食べました。暑い夏休みの楽しい一日でした。

金城



旭



知って学んで体験！海へ行こう！

都川・市木の両まちづくりセンター合同の「はまだっ子共育事業」が夏休みに実施され、コーディネーターも準備から関わりました。

両まちづくりセンター区域内の子どもが、センター職員の引率の下、保護者や渚の交番スタッフと海浜公園の海を満喫しました。渚の交番スタッフから海について教わり、正しい知識を得て海ならではの楽しさの数々を体験し、海から離れた地域の子供達も事業を通して浜田の資源である「海」に親しみました。

こうした子ども達のワクワク・ドキドキ体験の笑顔や歓声は、関わる大人の喜びにも繋がる！と感じたと同時に、何をどこでどう学ぶのか「学びのデザイン」にワクワク・ドキドキ感の大切さも再確認しました。

弥栄



拡がれ！つなぐれ！！ ふるさと体験村クリーンデー

9月2日（土）、ふるさと体験村の運営を担っている「やさかの未来創造会議」による、『第3回 ふるさと体験村クリーンデー』が行われました。

クリーンデーとは、人が集まり交流が生まれることを目的としながら、ふるさと体験村を美化するために行われる『草刈りイベント』です。

「訪れた皆さんに気持ちよく過ごしてもらいたい！」と、地域住民の皆さんは、明るく元気に朗らかにクリーンデーに精を出されていました。

今年度最後となる次回は、10月7日（土）の9時から開催されます。

地域資源の活用を探れ！！

この夏、4年ぶりに開催された黒沢地区の「かっぱランド夏祭り」は、関係人口の創出で来場者500人という人々で賑わいました。

その日の夜は、新たな取組として、通称“かっぱランド”という三隅川の川辺と、まちづくりセンターのグラウンドを使い、将来的にキャンプ場として利活用できないものか、まちづくり委員会で社会実験（モニタリング）を兼ねてキャンプをされました。熱い思いを抱く6組がテントを張って「かっぱランドの地域資源って他にないかな？」と、夜遅くまで談議をしていました。

今年11月には、親子を対象としたキャンプの予定が入っているそうで、今後の展開が楽しみです。



三隅



コーディネーターのつぶやき



2023年夏、毎日毎日暑い日が続きました。年々暑い日が多くなり、猛暑のニュースが増えるなか、我が家にはエアコンがなく扇風機とうちわで夏を過ごしてきました。寄る年波には勝てず、ついにエアコンを購入しました。なんと！なんと涼しいことか！！我慢していたというほどではないのですが、必要もなく（ないと思っていた）今まで過ごしてきただけでした。ただ、夏に家に人を呼ぶことは、遠慮がちでした。

もうすぐ涼しくなりますが、これからはエアコンを上手く使って元気に過ごしたいと思っています。いつの間にか、エアコンは贅沢品ではなくて必需品になっていました。

毛利 美和子

通信へのアンケート



左のQRコードを読み取り、本通信へのご意見をぜひお聞かせください！いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます！



浜田市地域政策部

まちづくり社会教育課

【電話】 0855-25-9204

0855-25-9007

（CN執務室）

【FAX】 0855-23-1866

【メール】 manabi@city.hamada.lg.jp